

令和 6 年度 第 7 回江北町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和 6 年 12 月 19 日（木）14：00～14：30
- 2 場 所 公民館 2 階講座室
- 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育長職務代理者	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課・学校づくり推進室】

番号	役 職	氏 名
1	課長（兼室長）	本村 健一郎
2	課長代理	峯 清美
3	係長	野田 あゆみ
4	主任指導主事	小宮 広明
5	専門員	牟田 久俊

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長	山中 博代
3	課長代理	小野 政己

4 議題

教育諸課題解決に向けた検討の進捗状況について

○開会（山中課長）

○挨拶（山田町長）

いよいよ年の瀬も迫ってまいりましたし、学校のほうも一週間足らずということになりました。インフルエンザも30を超えて警報レベルになっています。何とか学校のほうでの広がりがあまりないのでよかったと思います。年明けになれば、中学3年生は受験があるので心配しています。

先日12月議会が終わりまして、今日も議題になっている「部活の地域移行」のことも質問されましたけど、まだ総合教育会議で協議をしていなかったのもうような答弁ができなかったかなと思っています。

30分しかないので充実した議論ができればと思います。

○議題

ー牟田専門員より教育課題「部活動の地域移行」について説明ー

【山田町長】

- ・R10までに地域移行で大丈夫なのか。遅すぎないか。しなくてもいいムードなのか。

【牟田専門員】

- ・やる必要があるけれども、目の前の課題が多すぎるということに国が気づいた。

【山田町長】

- ・国としても、もともとは多忙化対策からの話だったが、これよりもほかにする必要があるということ。
- ・今は、子どもたちの興味関心も非常に多様化していて、また江北町もなんとか生徒数も維持できているとはいえ、それでも部活の加入率が低くなっている。その中で子どもたちの部活というのはどうしていくかあまり考えないで行った方がいいと思う。
- ・議会の中で3人から部活の地域移行の質問を受けた。そこで自分が感じたことは、もしかすると、子どもの数がこれから減っていくと江北町でいままでの数の部活動ができなくなる。今でも一部行っているが、近隣市町のほかの学校と一緒にしなくてはならなくなる。例えば、白石町は学校の統合をきっかけにそ

ういうことを進めている。端的に言えば江北町の子どもたちはよその部活に通わなくてはならないかもという危惧を抱いた。だから、なるべくたくさん江北町が周辺の拠点として部活ができるようにならないといけない。一例だが、吹奏楽をしたい生徒が多い。幸い白石町に吹奏楽部があるのでお互い相乗りなどを考えたがいいのかなと思う。だからそういう意味でも江北町でいろんなことができたらいいなと思う。

- ・小学校の子どもたちも含めてのいろんな体験の場と大きく考えていたが、中学校の近隣市町とどのようにしていくかを考えたがいいかなと思う。

—牟田専門員による「杵島郡三町部活動、社会体育・地域クラブ加入状況」について説明—

【山田町長】

- ・方向性としては、3町の連携を志向していかななくてはならない。その上で、部活動が地域展開や社会体育になることを絡めて、単純に今の部活動のまま3町合同で行うのではなくて、地域展開をしなくてはならない。
- ・今までも、中体連を合同で出場するなど、足りない分はレンタルのようにしていたこともある。これは、子どもたちのメンタルを不安定にさせてしまう。「今年は足りたから大丈夫」とかではない形での連携をしなくてはならない。よかったら、ご意見・ご感想があればお願いします。

【田中委員】

- ・今ある部活動をこのまましていくのか、もしかしたら子どもたちのしたいことが変化していったら今ある部活動の種目が変わっていくかもしれない。子どもたちの居場所の部活としてどういうふうにしていったらいいのか。
- ・陸上部も白石アスリートのほうに3人行っている。行くことによって、江北中学校でないところの生徒と関わることで、刺激をもらっている。江北町が小学校1つ・中学校1つでそのまま持ち上がっていくので全然刺激がない。それを、他の中学生と練習をすることによって得られるものもあるかなと感じている。江北町として、陸上部の子どもたちがそのまま入部してほしいが、入部してほしいということだけではなく、子どもたちの成長などを考えたら、他の所とも合同チームというのもすごくいいことだと思う。

【山田町長】

- ・仮に白石町に練習に行ったとしても、子どもたちに白石町にお世話になっていと思わせないようにしたい。たまたま杵島郡のこの部活動がここであっている。という認識にしないといけないなと思う。
- ・昔のような、大町町や白石町はライバルだ。一緒に部活なんて。という意識を無くさないといけない。

【重松委員】

- ・3町が合同でできるような形になれば一番いいと思うが、白石町は、白石だけでも部活動を実施しているので、そこに後から参加するとなると、白石町にお邪魔しているという感覚になってしまうと思うので、大町町がまだ部活動をしていないとすれば、先に大町町と合同で始めるというのもありなのかではないかと思う。
- ・国も必ず部活動の地域移行という統合性がぶれてきているというのものもあるが、競技によっては、中学校の部活動よりクラブチームのほうが盛んになっている競技がある。公式戦にクラブチームとして出場しているところが多いので、これだけの種目を江北中で社会体育に移行する必要があるのかなと思う。なので、競技を絞るのか、種目の幅を増やすためにも合同で練習することを視野にいれる必要があると思う。

【山田町長】

- ・3町一緒ではなくても、大町町と合同ですることによって、今まで江北町でできなかった種目を提供できることになる。

【浪瀬委員】

- ・どこを中心に持ってくるかという問題もある。細かいところは自治体でしっかりと話し合う必要がある。
- ・教職員の働き方改革が出てきて、部活動の考え方が変わった。先生方の考えも昔と違って、部活動はしたくありません。という意見も出てきている。そういったところも含めて、教職員の考え方も変わったと思う。正直働き方改革にあまりいい感じは持っていない。子どもたちと多く接する機会があるのは、部活動だと思う。卒業した子どもたちの思い出として部活動の思い出は大きい。先生方も子どもたちも部活動で長い付き合いを持ったりしている。ただ、時代の流れがあるので、その時代の流れをうまく乗り切っていけるように考えなければならぬと思う。

【溝口委員】

- ・部活動の地域移行については、いろんな部活動の指導者から質問を受ける。指導者側からしたら、中身をもっと知りたい。早めにスポーツ協会や指導者を集めて説明会をしてほしいという意見がある。
- ・地域移行のメリットとしては、指導者はほとんどボランティアになっている。実際指導者不足があるので、謝金などを支払うことができるならいろんなところに呼びかけができる。という意見もあった。
- ・早めに、関連している方に中身をもう少し伝えることができたらと思う。

【山田町長】

- ・イメージするとすれば、「統合して展開」
- ・例えば「江北大町部活動運営委員会」の結成をしたり、そのための検討は協議会と一緒にすることになるのではないかなと思う。相手もあることなので、そういう場を設けて進めていかないといけない。
- ・このプロセスは遅すぎると思う。今までしていなくて、今から考えますというよりは、事務局で行っている所以我々で提示できるようなことは作らないといけないと思う。
- ・もしかすると、大町と統合部活動を話し合ったほうが早いかもしれない。それだけでも、江北町にもメリットがあると思う。江北町としての計画をある程度決めて、大町町と実際話し合った方がいい。
- ・今日の議題に関しては、江北町だけではできない。地域移行だけ考えているが、統合というのも一緒に考えていかないといけない。
- ・もう一回部活動の地域移行のことを話し合いたい。新年度からどのように動くのかをある程度話し合えたらと思う。

○閉会